

写真や図版及びその説明

写真1,2① 名称：熊本地震被災状況調査 2016年5月
説明：益城町県道28号線沿被害状況、



益城町総合体育館（避難所の状況）



写真2-③④ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年5月
説明：益城町総合体育館（YMCA/ワールドビジョン：避難所仮設プレイパーク、仮設ブレイルーム）



写真3-①② 名称：熊本地震被災状況調査 2016年5月
説明：益城町広安西小学校（校庭でのイベント、教頭先生へのインタビュー・ユニセフとの連携調査）



写真や図版及びその説明

写真4、5 名称：熊本地震被災状況調査 2016年5月

説明：熊本市南区火の君総合文化センター（避難所）、熊本市さくらんぼ保育園（支援劇）



写真6、7 名称：熊本地震被災状況調査 2016年5月

説明：グランメッセ熊本（ピースポート避難所）、熊本地震・支援団体火の国会議（熊本県庁）



写真8-①② 名称：熊本地震被災状況調査 2016年7月

説明：御船町滝尾幼稚園（被害状況）



写真や図版及びその説明

写真8-③④ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年7月
説明：御船町滝尾幼稚園（被害状況）



写真8-⑤⑥ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年7月
説明：御船町滝尾幼稚園（被害状況）



写真9-①② 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町こども未来課（担当課長へのインタビュー）



写真や図版及びその説明

写真17-①② 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町空港保育園（被害状況）



写真17-③④ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町空港保育園（被害状況）



写真17-⑤⑥ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町空港保育園（園長先生へのインタビューと被害状況）



写真や図版及びその説明

写真16-①② 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月

説明：益城町あじさい保育園（被害状況）



写真16-③④ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月

説明：益城町あじさい保育園（被害状況）

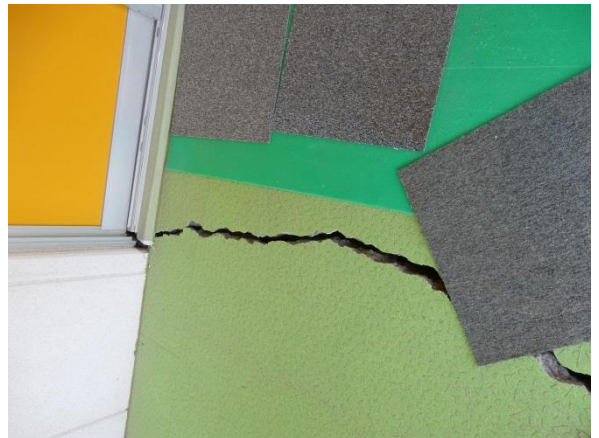


写真16-⑤⑥ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月

説明：益城町あじさい保育園（被害状況）



写真や図版及びその説明

写真15-①② 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町第一幼稚園（被害状況）



写真15-③④ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町第一幼稚園（被害状況）



写真15-⑤⑥ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町第一幼稚園（園長先生へのインタビューおよび被害状況）



写真や図版及びその説明

写真14-①② 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月

説明：益城町第二幼稚園（被害状況）



写真14-③④ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月

説明：益城町第二幼稚園（被害状況）



写真14-⑤⑥ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月

説明：益城町第二幼稚園（園長先生へのインタビューおよび被害状況）

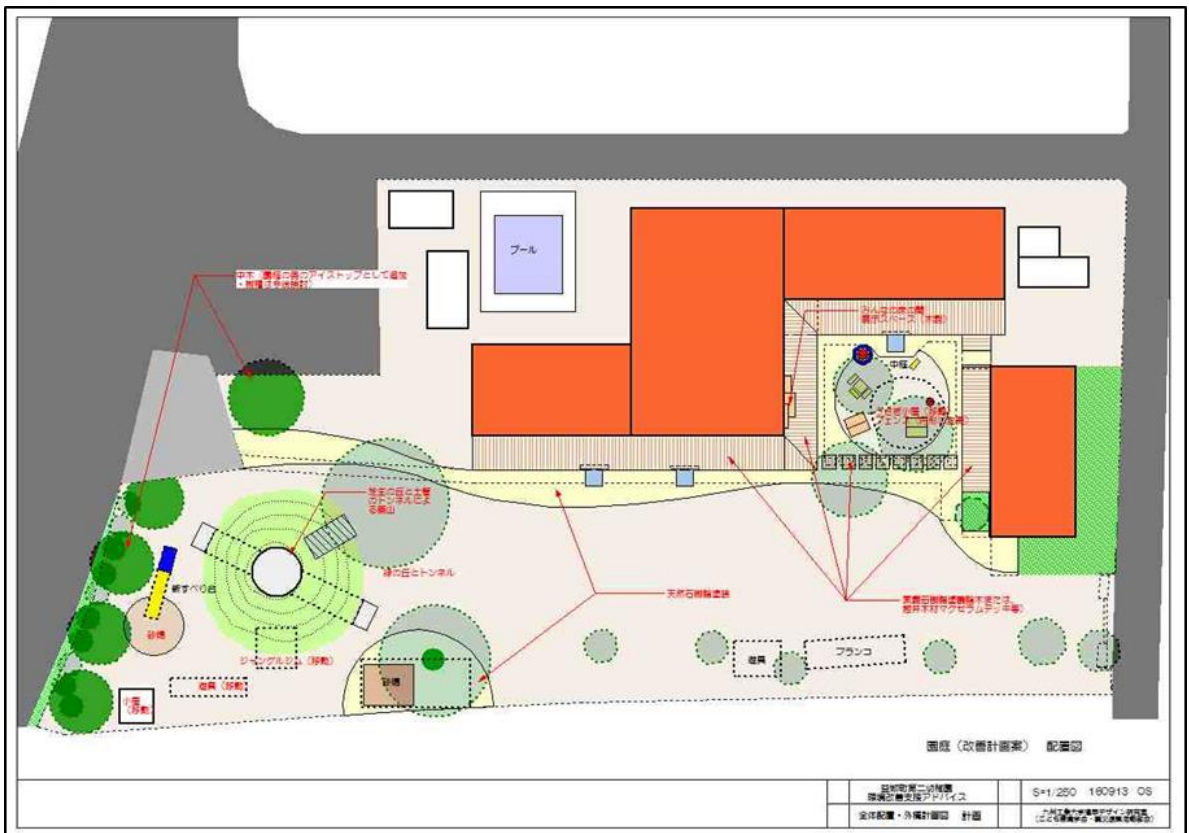


写真や図版及びその説明

図版2-① 名称：益城町第二幼稚園 環境改善計画提案 2016年9月
 説明：全体配置図（園庭現状調査結果プロット）



図版2-② 名称：益城町第二幼稚園 環境改善計画提案 2016年9月
 説明：全体配置図（園庭改善計画提案）



写真や図版及びその説明

写真10-①② 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町第五保育所 既存施設 (被害状況)



写真10-③④ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町第五保育所 既存施設 (被害状況)



写真10-⑤⑥ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町第五保育所 既存施設 (被害状況)



写真や図版及びその説明

写真11-①② 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町第五保育所 避難先 益城中央小学校（外観及び被害状況）



写真11-③④ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町第五保育所 避難先 益城中央小学校（仮運営状況）



写真11-⑤⑥ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月
説明：益城町第五保育所 避難先 益城中央小学校（左：教員スペース、右：運営状況）



写真や図版及びその説明

写真12-①② 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月

説明：益城町第五保育所 仮設園舎（建設工事状況）



写真12-③④ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月

説明：益城町第五保育所 仮設園舎（建設工事状況 内装の最終仕上げパネル）



写真12-⑤⑥ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年8月

説明：益城町第五保育所 仮設園舎（建設工事状況 出入口は底のみ、出入のポーチ、縁側等が皆無）

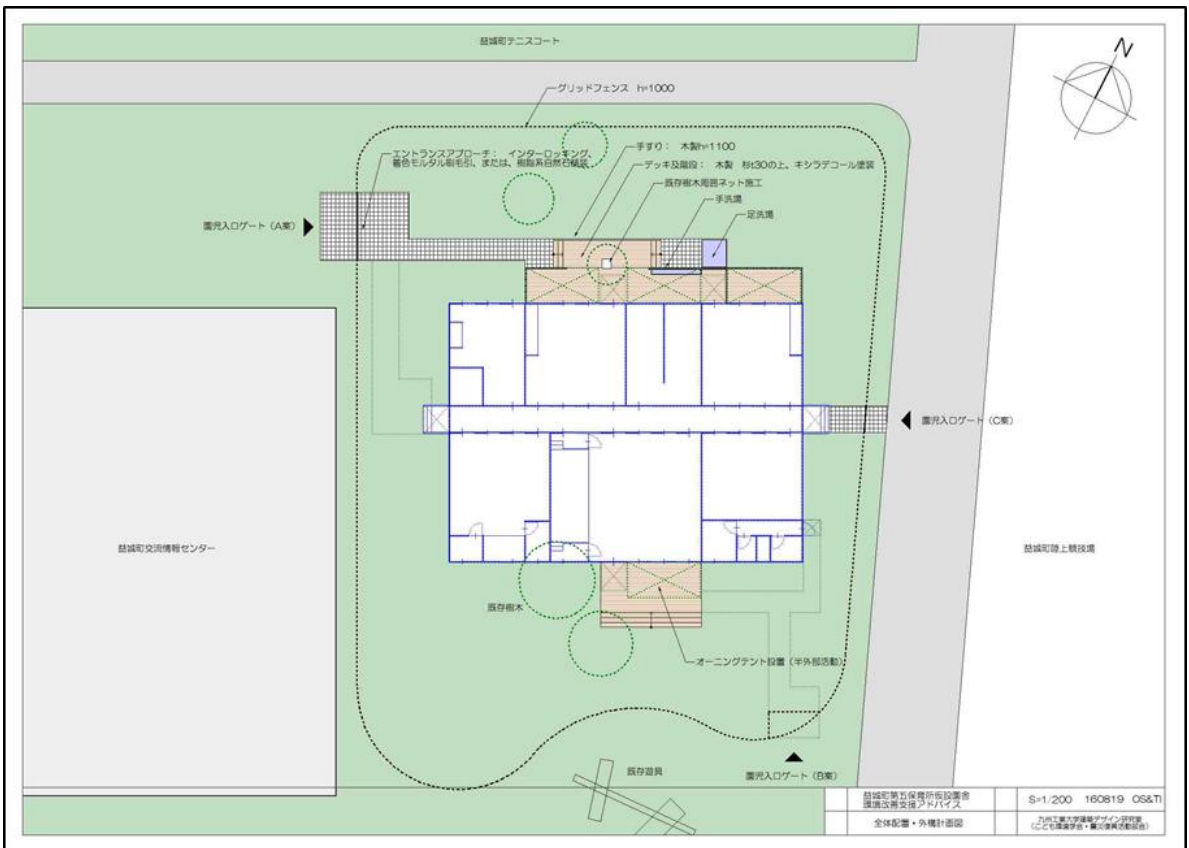


写真や図版及びその説明

図版1-① 名称：益城町第五保育所 仮設園舎 環境改善計画提案 2016年8月

説明：全体配置図・1階平面図

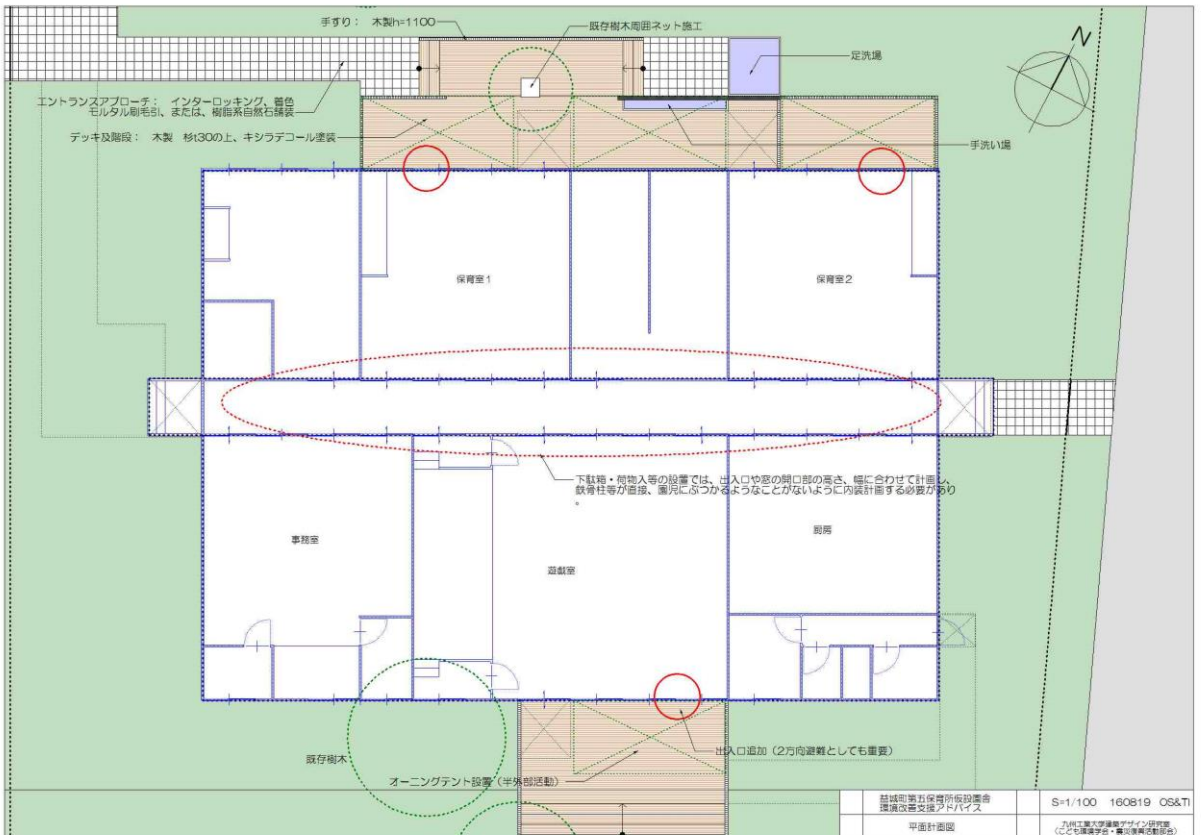
(仮設の園舎や園庭に対して、テラスデッキ、玄関ポーチ、手足洗い場、外周フェンス等を提案)



図版1-② 名称：益城町第五保育所 仮設園舎 環境改善計画提案 2016年8月

説明：1階平面図

(仮設の園舎に対して、出入口の追加、中央廊下部分への下駄箱、棚の設置等を提案)



写真や図版及びその説明

写真13-①② 名称：熊本地震被災状況調査 2016年12月

説明：益城町第五保育所 仮設園舎（アドバイス後の環境改善状況 出入口ポーチ等）



写真13-③④ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年12月

説明：益城町第五保育所 仮設園舎（アドバイス後の環境改善状況 出入口ポーチ等）



写真13-⑤⑥ 名称：熊本地震被災状況調査 2016年12月

説明：益城町第五保育所 仮設園舎（園長先生へのインタビューおよび環境改善状況意見交換）



図版3-①②③④ 名称：『こどもたちを遊びで元気にする保育環境改善アドバイス』抜粋
 説明：（幼稚園・保育園・こども園への配布資料（益城町、熊本市））

**こどもたちを
遊びで元気にする
保育環境改善アドバイス**



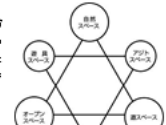
2017年3月




公益社団法人子ども環境学会
震災復興支援活動部会

4. 遊びと環境

1. 遊びの原空間
 遊びの原空間ではその場特有の遊びが発生します。生き物と触れ合える「自然」、広々とした「オープンスペース」、近所の人と出会う「道」、大人目から隠れる「アッド(秘密基地)」、興味に満ちた「アナーキースペース」、身体運動のまっけとなる「遊具」などで、多様な遊び空間をつくることで、遊びが多様で豊かになります。

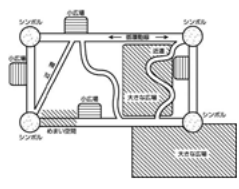


2. 子どもに魅力ある多様な空間
 子どもに魅力的な空間は、たとえばグレイハウスの「開所」、ステージなどの「別所」、バルコニーなどの「高所」などで、部屋を布や段ボールなどで様々なコーナーをやることで、子どもたちが好きな空間を選んで遊べます。



3. 遊具構造
 空間は構成の仕方によって、遊びが発生しやすい空間となります。下記の「遊具構造のモデル図」は、遊びが発生しやすい空間の模式図ですが、一言で言う「開所」の多様な変態に富んだ空間をつないでいて、全体としては見通しがよく開放的な空間が、遊びが発生しやすいということです。

遊具構造のモデル図



- ① 傾斜機能がある
- ② その傾斜が安全に変化に富んでいる
- ③ その中にシンボル性の高い空間、場がある
- ④ その傾斜にめいまい体験できる部分がある
- ⑤ 近道（ショートカット）ができる
- ⑥ 傾斜に広場、小さな広場などが取り付いている
- ⑦ 全体がボックスな（見通しがよい）空間で構成されている

5. 空間ごとの遊び環境づくり

1. 内の空間
 内の空間は子どもたちの活動の主となる保育室を始末遊戯室があり、子どもの一番長い時間を過ごす空間です。遊びや身体運動を誘発する遊戯室や保育室の環境づくりに配慮することが必要です。

【活動室の用途】
 部屋ごとで同じ道具を回さないようにすることで、空間の特別感を持たせるようにします。このことで、子どもたちが自分のやりたいことに応じて空間を選択しやすくなり、行動が空間ごとに差別化されます。

【室内環境の調整】
 室内空間の子どもたちの環境として心地よいものとするために、日差しが強い時にはカーテンを使って室内を穏やかな環境にするなど、室内環境の調整に配慮することが必要です。

ロールカーテンを用いると目の高さに合わせて暑さや乾かしさをカットしつづも外の明るさを取り入れることができます。また、保育室前に植物を用いた緑のカーテンは木陰をつくりながら、植物の呼吸によって涼しく、居心地の良い空間を作ることができます。

【保育室のコーナーとパーティション】
 様々仕切りを用いて、部屋にコーナーを作ることで、「あそこで何が出来るんだろう」と興味を湧きやすくなり、移動するまっけになります。また、子どもが椅子や床に座った時に、そこが明確な空間となるように、パーティションや柵で区切り、その空間の特別感が高まり、落ち着いてその遊びに集中しやすくなります。

【開きの床】
 園舎の中で安全性に最も重要なものは床。子どもたちの事故は、転倒や落下が圧倒的に多いため、できるだけクッション性を確保する必要があります。また、保育室の床を畳やカーペットなど部分的に素材を変えることにより、子どもの感覚刺激が刺激され、遊びの多様性を広げることができます。

【広い空間】
 広い室内空間の魅力は多く、刺激が走り回ったり工作など広い空間を必要とする活動の場として大切です。このことから、大まなホール



【屋上などの見渡す空間】
 施設によっては、屋上があるところもあると思うが、屋上に子どもたちの活動する場を設けているところは少ないでしょう。周辺の地域や園舎が展望することのできる空間があると望ましいです。


3. 外の空間
 園舎空間の多くは平面的で、ボール遊びなどスポーツ的な利用が中心だが、もっとどこかや楽山を設けて、様々な空間を展開できる空間である必要があります。いるいる遊びや動きができる子どもにとって新しい空間にする工夫が必要です。想像などで見る自然はきれいだが、実際の自然は雑草で、気持ち悪いところもたくさんあります。子どもたちには自然と触れる体験が必要であり、どこにでも環境が必要なのです。

【園舎の全体計画】
 園舎内のもは全てを点々させるのではなく、水場や砂場、木々の場所、遊具の場所、走り回れる草地などの要素の境を作り固めていくことで子どもたちの遊びの多様性へと繋がっています。また、この各場所の間に関連できる遊具をすることで乗り物遊びが楽しくなったり、動物が遊ばせられ、子どもたちがいろんな空間へと移動するめいけになります。

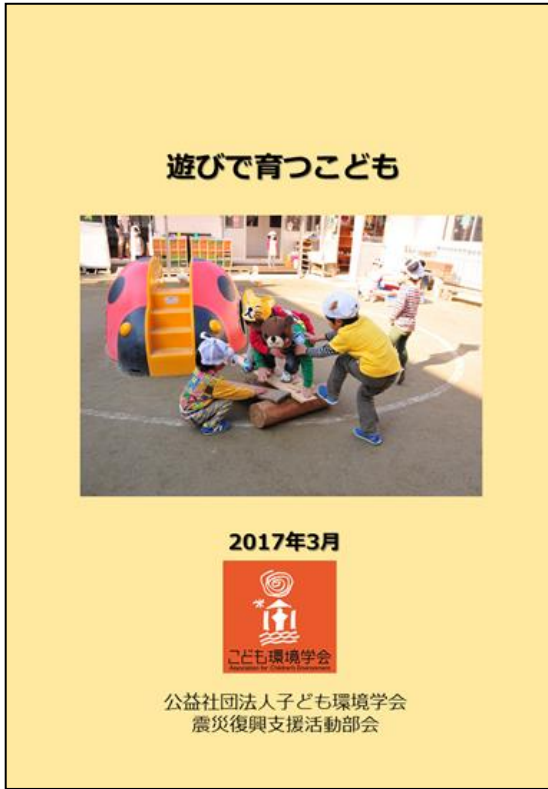
【砂場周りの要素】
 砂場は周りの環境によって遊びの幅や多様性が異なります。自由に掘ったり積み上げたり、泥んこになっただけでなく、近くには水場を作ったり水と一緒で遊ぶことができたり、木々や椅子・机を置いたりすることで、自然素材のまっけ遊びなどにつながります。可能であれば段差を多用し、年齢に応じた遊びが存分できるような状況となれば良いでしょう。

【開きの工夫】
 土・砂場の開きの自休も工夫するお遊びの空間となります。丸太を横に敷いたり、柵にして段々にするなどすることで、平均台のように使われバランス感覚を育てる場所になります。また、開きの開きと閉じるとつづく危険性があるのを、柵に入ってくる高さにするようにしましょう。

【水・泥遊びのできる場所】
 砂場のそばに水遣や井戸を設けるか、たらいに水を張って置くことで、いつでも水を獲えるようにします。砂場と水場の両方を園内に設けることで、遊ぶ動物が生まれ、また協力する姿が見られるようになります。水場以外にも自然とできる水たまりを積極的に発見するようにすることで、水・泥遊びのできる場所として活用することができます。



図版3-①②③④ 名称：『遊びで育つ子ども』抜粋
 説明：（仮設住宅団地への配布資料（熊本県））



★ 遊びのはじまりは、あやし遊び ⇒ 愛着形成。

【一いよいよいよいよばあー遊び】



【一おこり顔/大笑い顔/まゆげ顔ー遊び】



【一おまるおまるー遊び】



★ まね遊び「できるかな！」 ⇒ 挑戦性を育む。



【一かくれんぼー遊び】



ちょっと一言：「遊び」の概念は古来では神事として神々にさげる「歌舞」でしたが、時代が下ると人々の「楽しみ」になります。それらが融合したのが「かくれんぼ遊び」で、身を隠して再生するという神事、こどもが成長すると「稲穂の基壇づくり」につながりますね。

★ 群れて遊ぶ ⇒ 心と身体を育む。

【一アヒル相撲・ケンケン相撲ー遊び】



向きあってお互いの身体をぶつけあって、尻もちをついた息ひざをついたら負け。

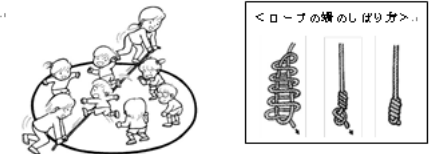


どちらかがしりもちをついたら、尻尾をついたら負け。

【一張んでくっくてロープジャンプー遊び】



【一グルグルロープジャンプー遊び】



【実施時の注意】

動きが活発ですので、遊びを展開する場所について、広さを十分に確保し、けがのないようにしてください。